

平成23年度 障害者保健福祉施策の概要

1 障害者保健福祉の推進

(1)障害者の自立支援	23年度予算額(22年度当初予算額)
障害者自立支援法施行事務	12,597,924千円(11,813,704千円)
介護給付・訓練等給付, 自立支援医療給付, 補装具費の支給, 利用者負担軽減措置, 障害児施設給付費・措置費, 障害児(者)通園通所施設運営支援等を行う。	
(再掲)障害者自立支援特別対策事業	193,635千円(202,910千円)
通所サービスと短期入所の利用者の送迎に要した経費を助成する通所サービス等利用促進事業や新体系に移行した事業所に従前の報酬額の9割を保障する事業運営安定化事業のほか, 新たに障害者自立支援機器普及促進事業【新規】を行う。	
(2)障害者の日中活動及び生活の場の整備	23年度予算額(22年度当初予算額)
精神障害者の支援施設	278,174千円(280,204千円)
障害福祉サービス事業所(3ヶ所)運営管理委託, 生活訓練施設(1ヶ所)及び通所授産施設(3ヶ所)運営費を助成する。	
小規模地域活動センター運営費補助	390,564千円(418,555千円)
グループホーム等整備費補助	19,114千円(21,825千円)
グループホーム・ケアホーム等を実施するアパートなどについて, バリアフリー化等に必要な改修の一部や初度調弁費等を助成する。	
(3)障害者の地域生活の支援	23年度予算額(22年度当初予算額)
相談支援事業の実施・拡充(一部再掲)	305,655千円(311,348千円)
障害児(者)と家族が安心して地域で生活できるよう各種相談事業を実施する。	
地域リハビリテーション支援等事業	19,722千円(20,900千円)
中途視覚障害者及び高次脳機能障害者への支援事業等を実施する。	
重度障害者コミュニケーション支援事業【新規】	11,579千円(0千円)
意思表出に高い困難性を持つALS(筋萎縮性側索硬化症)等の進行性難病患者や重度障害者の生活の質と尊厳を守るため, 新たに意思伝達装置等によるコミュニケーション支援を開始する。	
知的障害者自立体験ステイ事業	16,014千円(24,793千円)
知的障害者の自立生活に向けた体験事業を実施する。	
抑うつ高齢者等地域ケア事業	1,080千円(1,456千円)
内科を中心としたかかりつけ医へのうつ病対応能力向上研修のほか, 心の健康相談などを実施する。	
発達障害児(者)支援体制整備事業	57,308千円(49,639千円)
自閉症児(者)相談センター事業, 発達障害児(者)自立支援事業を実施する。	
地域活動推進センター機能強化事業	6,334千円(6,334千円)
発達障害の支援を行う地域活動推進センターにおいて, 就労に向けた支援を実施するため支援員を配置する。	
精神障害者退院促進支援システム整備事業	672千円(800千円)
受入条件が整えば退院可能な患者の退院を促進するため, 地域生活に係る家事技能等を身につける宿泊型訓練事業等を行う。	
精神障害者地域社会交流促進事業	4,514千円(4,623千円)
精神疾患・障害への正しい知識の普及啓発を図るため, 実効性のあるプログラムの開発研究を行うとともに, 精神障害者が体験等を話す講演会を開催する。	
自殺予防情報センター運営事業【新規】	2,171千円(0千円)
地域における自殺対策の総合的な連携・支援体制の整備を推進し, 自殺未遂者・自殺者親族等に対する適切な支援を行うため, 精神保健福祉総合センターに自殺予防情報センターを設置する。	

(4) 障害児(者)の子育て・介護の支援	23年度予算額(22年度当初予算額)
重症心身障害児(者)通園事業	119,652千円 (120,747千円)
在宅重症心身障害児(者)への機能訓練や家族への療育指導を実施する。	
障害児放課後ケア支援事業	559,946千円 (330,102千円)
新規児童デイサービス事業所2ヶ所・タイムケア事業所1ヶ所,実施箇所の拡充(39ヶ所)	
児童デイサービス支援体制強化事業	20,400千円 (7,200千円)
新規開設する障害児放課後ケア支援等事業所(児童デイサービス)について,事業所と地域との連携体制を強化するための支援員(コーディネーター)を配置する。	
障害者家族支援等推進事業(レスパイトサービス)	119,126千円 (108,465千円)
地域のサービス提供拠点施設(7ヶ所。うち,新規1ヶ所。)において,24時間介護を行うとともに,日中又は宿泊の一時介護等を行う社会福祉法人等に助成する。	
要医療的ケア障害児(者)等支援	35,560千円 (41,886千円)
医療的ケアを要する障害児(者)やその家族が地域で安心して生活できるよう,ショートステイ実施法人への看護師配置補助に加え,障害者福祉センターにおける生活介護事業への看護師加配を実施する。	
(5) 障害者等の社会参加の促進	23年度予算額(22年度当初予算額)
障害者スポーツ振興事業	56,824千円 (54,597千円)
ひきこもり青少年等社会参加支援事業	5,123千円 (7,941千円)
関係機関ネットワーク会議を開催するとともに,支援体制の整備について検討する。	
(6) 障害者保健福祉計画等の策定【新規】	23年度予算額(22年度当初予算額)
	2,975千円 (0千円)
障害者のための施策に関する基本的な計画である「仙台市障害者保健福祉計画」及び障害福祉サービス等の見込量とその見込量の提供体制を確保するための方策を定める計画である第3期「仙台市障害福祉計画」を策定する。	
(7) その他	23年度予算額(22年度当初予算額)
精神科救急システム整備	13,261千円 (13,446千円)
障害福祉サービス事業所等整備費補助(一部再掲)	345,152千円 (214,966千円)
(仮称)南部発達相談支援センター建設等	454,354千円 (172,845千円)

2 地域リハビリテーション推進施設整備

(1) (仮称)身体障害者総合支援センター施設整備【新規】	23年度予算額(22年度当初予算額)
	449,141千円 (0千円)
地域リハビリテーションシステムの構築を図るため,健康増進センターを改修し,現在の障害者更生相談所を移転拡充し,(仮称)身体障害者総合支援センターを整備する。	

3 障害者就労支援システム強化

(1) 障害者就労支援センターを通じた支援	23年度予算額(22年度当初予算額)
障害者就労支援センター運営	54,050千円 (54,400千円)
窓口相談,就労継続の援助等,障害者の就労生活全般にわたり総合的な支援を行う。	

(2)障害者職業能力開発	23年度予算額(22年度当初予算額)
障害者施設自主製品販売促進事業	6,628千円 (6,840千円)
知的障害者を対象に、一般店舗の一角において授産施設等が製作した授産品等の販売、接客等の就労訓練を行うことにより、知的障害者の自立と社会参加を促進し、市民及び事業者の理解の増進を図る。	
障害者職業能力開発促進事業	12,300千円 (13,200千円)
障害者雇用を促進するために、委託訓練先の開拓や、企業と障害者のマッチング等を行い、個々のニーズに対応した職業訓練を推進する(国委託事業)。	
精神障害者社会適応訓練事業	7,612千円 (8,141千円)
回復途上にある精神障害者を対象に、協力事業所において、生活指導や就労訓練を一定期間実施し、社会復帰できるよう援助する。	
障害者在宅就労支援事業	5,277千円 (5,647千円)
障害者の在宅就労に関する総合的なサービス拠点として「仙台市障害者バーチャル工房事業・せんだい庵」を設置し、技術支援や受注促進等の取組みを行っている。	
知的障害者職場実習訓練事業	2,300千円 (7,560千円)
就職を希望する知的障害者を対象に、職親として登録された事業所において、一定期間就労訓練を実施し、就職に必要な能力の習得を目指す。	

(3)障害者雇用促進・福祉的就労支援	23年度予算額(22年度当初予算額)
障害者雇用貢献事業者への市長感謝状贈呈事業	646千円 (646千円)
障害者雇用先等マッチング事業	39,976千円 (30,300千円)
障害者の雇用促進を図るとともに福祉的就労を支援するため、障害者の雇用先や実習受け入れ先及びふれあい製品(施設自主製品)や役務の受注先を開拓し、企業と障害者・施設とのマッチングを行う。	

(4)知的障害者チャレンジオフィスの推進	23年度予算額(22年度当初予算額)
	5,890千円 (3,172千円)
知的障害者を本市の非常勤嘱託職員として雇用し、一般企業等への就労に向けた支援を行うとともに、障害程度や能力に応じた適切な業務内容、業務量等の検討を行い、その成果を企業に紹介することにより、知的障害者の雇用促進を図る。	